「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」 モデル事業 個別事例調書様式

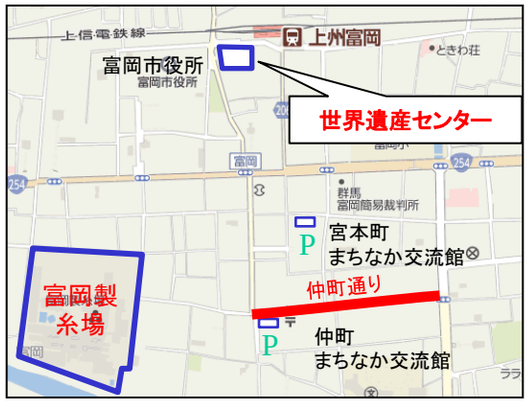
R6年度完成	事業名：主要地方道富岡神流線（仲町通り）電線共同溝

所属名	富岡土木事務所

区分
道路(市街地)

1. 事業概要

■（主）富岡神流線「仲町通り」は、富岡ICから世界遺産「富岡製糸場」に訪れる際の玄関口となる場所であり、富岡市景観計画の景観重要公共施設の一部区間である。
　沿線には、昔ながらの商店街があり、無電柱化とあわせて、道路空間を再配分することにより、歩道幅を拡幅する。
　観光客や地元の人が歩きたくなるような歩行者のおもてなしに重点を置いた舗装や照明の設置を行い、にぎわいのある空間を整備することを目的とした事業である。



2. 現場の特徴【ステップ1】

・富岡ICから世界遺産「富岡製糸場」へのアクセス道路である。
・昔ながらの商店街が存在している。

3. 事業目的【ステップ2】

①現場から何を見せるのか
　景観整備をした歩道に集う観光客や地域住民の賑わい

②どこから現場自体を見せるのか
　歩行者、ベンチの休憩施設、観光バスの車窓から魅せる。

③目指すべき目標像
・富岡ICから世界遺産「富岡製糸場」へのメインストリートとして、訪れる観光客が「歩きたくなる」道路空間を創出する。

4. 専門家の助言の有無【ステップ4】（有・無）

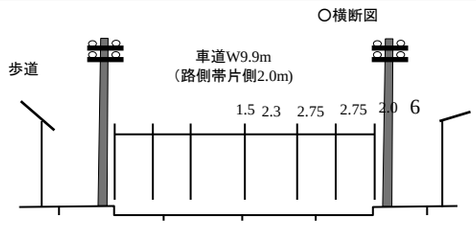
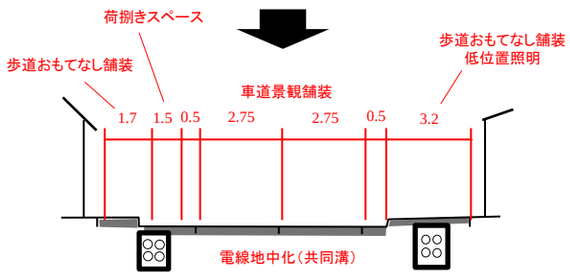
・昔ながらの商店街に、誰もが歩いてみたくなる、訪れてみたなる道をつくる。
・マウンドアップ形式歩道、おもてなし舗装（ゲシュタルト舗装）、ベンチの設置、低位置照明を丁寧な作業でつくる。

5. 配慮内容【ステップ3】＜完成（整備前後の写真やコメント等）、計画済・計画中（想定される内容）＞

〇おもてなし舗装（ゲシュタルト舗装）や夜間には低位置照明が点灯することにより、歩きたくなる歩道や訪れたくなる空間を整備する。
〇電線の地中化を行い、良好な景観づくりを図る。
〇荷捌き場を設置することにより、商店の利便性向上を図る。

至　富岡製糸場

【整備前】

【整備後】

〇横断図